

豊川市図書館基本計画（案）に対する図書館協議会委員意見への回答

第2章		
頁	意見	回答
4	SDGs 実現に向けて、持続可能な社会の創り手を育む観点から、「ESD に貢献することも求められている。」等の文言を加える、または、p 25、p 41 に盛り込むことはどうか。	<p>ESD は、SDGs の目標 4『質の高い教育をみんなに』の中のターゲット 4.7 に、ESD は組み込まれています。</p> <p>また、上位計画であり、現在策定中の第3次教育振興基本計画でもこのことを踏まえ、ESD は、SDGs に包含する解釈とし ESD については記載しない方向です。また、第6次総合計画改定版でもSDGsのみです。</p> <p>このため、「ESD に貢献することも求められている。」等の ESD の文言はSDGs に包含することとし、追加記述は致しません。</p> <p>ターゲット 4.7:「2030年までに、<u>持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。</u>」</p>
	<p>7行目 「国は～」の文で、「本計画」が国か豊川市か。</p> <p>また、図書館に関係の深いゴールについては図書館全てに関わることから、特定しない方がよいのでは。</p>	<p>「本計画」は、豊川市図書館基本計画です。</p> <p>ご意見のとおり、SDGs 17目標は、図書館全てに関わることから4つの、「図書館に関係の深いゴール」については、削除することとします。</p>
第3章		
頁	意見	回答
7	何故分館の開館時間が2種類あるのか。合理的な理由があるのか。	<p>分館については、豊川市への合併前からの開館時間を採用しており、地元</p>

		の利用者からも合併したから統一というよりは、以前のままの開館時間が良いという声が上がっています。昨年度実施したアンケートにも、開館時間「今のままがよい」という声が多い。
	生涯学習センターの利用時間は？	午前9時から午後10時までです。
	何故ネットワークに幸田町が入っていない？	元々、1市4町合併前に、旧豊川と宝飯4町+蒲郡市で広域ネットワークを協定しており、そのまま合併後は2市構成となりました。
8	除籍は誰が決定するのか。また、購入も。	図書の購入・除籍については、収集方針・除籍基準を基に、図書係にて案を作り館長が決定しています。
17	<p>(1) 基本目標1「前計画では～」の1文が長く理解しづらい。</p> <p>「前計画では、基本目標1について、乳幼児から高齢者まですべての世代や障害者、外国人など、市民の誰もが、いつでも、どの地域でも、等しく図書館サービスを受けられるよう、市民や学校、地域と連携しながら、きめ細やかな魅力ある図書館サービスの充実を図り、より身近でより便利で自由な図書館環境の構築を目指し、図書館サービスのうちで最も重要視されるサービス図書資料の閲覧貸出しの充実を示す指標として、市民の図書資料の選択を広げるという観点から蔵書数の充実及び貸出冊(点)数の目標値を設定しましたが、その結果は以下のとおりでした。」</p>	<p>前計画の基本目標の記述を掲載しましたが、長文ですので、以下のとおり修正します。</p> <p>「前計画では、誰もが等しく図書館サービスを受けられるよう、市民や学校、地域と連携して図書館サービスの充実を図り、より身近で便利な図書館環境の構築を目指しました。この目標の指標として蔵書数の充実及び貸出冊(点)数を目標値に掲げ、その結果は以下のとおりでした。」</p> <p>同様にP18基本目標2、P19基本目標3についても以下のとおり記述を短くわかりやすく修正します。</p> <p>P18基本目標2「前計画では、市民が必要としている医療や健康、法律、就業など生活課題に対する情報や地域の課題解決に役立つ情報を提供する図書館を目指しました。この目標の指標として利用者の公衆無線LAN、インターネット閲覧端末及びレファレンスの利用件数を目標値に掲げ、その結果は以下のとおりでした。」</p>

		P 1 9 基本目標 3「前計画では、市民の生涯学習や交流の場、誰もが気軽に立ち寄れる場、文化の創造に役立つ空間、安全安心な市民のオアシスとなる図書館を目指しました。この目標の指標として来館者数及びイベント参加者数を目標値に掲げ、その結果は以下のとおりでした。」
第 4 章		
頁	意見	回答
25	(4) 選書方針「SDGs 実現に向けた ESD 関連本の収集」「電子書籍の拡充」(学校図書館では百科事典類や辞典等のデータベース要望が高い)の文言を加えたい。	<p>選書方針「SDGs 実現に向けた ESD 関連本の収集」は、P 4 の回答同様 SDGs に包含されるため加えませんが、資料の収集は行ってまいります。</p> <p>「電子書籍の拡充」については、資料の選書方針ではなく、資料の提供方法の拡充ですのでここでは、記載しません。しかし、電子図書館サービスの充実のため、電子書籍の購入は当面は現状を維持して行ってまいります。(関係ページ P 2 4、P 3 4)</p>
	除籍方針「購入後 7 年以上を経過し」について、本校は全国学校図書館協議会制定の廃止基準に則り進め、時事は 3 年、地誌やスポーツ等 5 年、百科事典は刊行 1 0 年等から、1 0 年としている、7 年の基準は何か。	書籍等資料の購入は公費で購入のため、あまり短くはできない中で、旧図書館の頃から 7 年を目安とし、実際に本の内容や状態を見て、除籍を行っています。本の内容によっては長く保存するものもあります。
第 5 章		
頁	意見	回答
31	「①子ども連れ」とあるが、「親子同伴」の表現はどうか。	「親子同伴」だと「親」に限定してしまいます。親以外と一緒にの場合(兄弟と一緒に、祖父母と一緒になど)や親のいない子どもへの配慮もありますので、「子ども連れ」のままとします。
32	⑤〇「人生 100 年時代」を「迎えるようにする」→「迎えようとする」	「迎えようとする。」に修正します。

	の誤り。	
33	<p>①館内滞在型利用と学習利用も可能な～の部分で、学生の学習利用の拡充施設増加検討が書かれていますが、社会人大人のための個人学習室などを検討に入れることは可能でしょうか。</p> <p>○一宮図書館については～の一文が長く理解しづらい。 「○一宮図書館については、今後、公共施設適正配置計画に基づくリーディング事業である複合施設の再編の都市機能誘導区域に誘導する施設としての役割を果たすため他の施設との配置や市民が滞留し、利用しやすい施設づくりを目指します。」</p>	<p>学習利用のための閲覧席は、学生の学習利用のためだけでなく、館内で図書の閲覧をする人や持ち込み学習をする社会人の利用を想定しています。</p> <p>また、当館には現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため閉鎖中ですがグループ研究室もあります。</p> <p>「一宮図書館は、公共施設適正配置計画のリーディング事業の一つ「一宮エリアの施設再編」の一部に入っています。都市機能誘導区域に誘導する施設としての役割を果たすよう、市民が利用しやすい施設づくりを目指します。」に修正します。</p>
34	<p>○ふれあい談話コーナーについての記述は、最後の図書館まつりで呈茶には向かず部屋を頂いた経緯があり、こだわる必要がなければ、ですが…。</p> <p>施策の方向(4)2段落目「高齢化社会」の用語は、内閣府等も「高齢化及び高齢社会」の使用をしているので、「高齢社会」はどうか。</p>	<p>「○ふれあい談話コーナーについては、図書館まつり等のイベント会場としての活用を検討します。」に修正します。</p> <p>「高齢社会」に修正します。</p>
37	<p>⑥国際化に対応した図書館サービスについて。「外国語での絵本の読み聞かせ」と「外国の絵本の読み聞かせ」という内容の違いが分かりにくい。前者は日本語の絵本を生徒が外国語に訳して読んでいるということか？それとも外国語でおはなし会を行っているということか。そうであれば、「外国語でのおはなし会」と表記した方が区別が付きやすいのではない</p>	<p>「外国語での絵本などの読み聞かせ」は、外国語、例えば英語で記述されている絵本を英語で読み聞かせを行うことを「外国の絵本の読み聞かせ」は、原作が外国の絵本の読み聞かせを想定しています。</p> <p>「外国語で記述された絵本の外国語での読み聞かせや、原作が外国の絵本の読み聞かせ」に修正します。</p>

	か。	
39	<p>施策の方向（２）「子どもを取り巻く環境はスマートフォン等の急激な普及などにより、大きく変化し、読書離れが懸念されています。」について、スマートフォンが読書離れの原因と捉えられる文になるので「子どもを取り巻く環境は大きく変化し」はどうか。</p>	<p>「子どもを取り巻く環境は大きく変化し、読書離れが懸念されます。」に修正します。</p>
45	<p>③学校連携の推進（マイブックプロジェクトの継続）の部分ですが、今後のことを見据えると、本の購入方法がいろいろ検討されていくと思われます。P40の内容にも関連していると思いますが、「市内の書店で購入する」「生徒自らが書店へ赴き」という表現は、選書方法が限定されると感じます。また「本を買うことの楽しさ」も「本を選ぶ楽しさ」とした方がこれからの事業展開に合うのではないかと思いました。</p>	<p>「マイブックプロジェクト」は、記述にもあるとおり、参加生徒や教職員からも好評で、教育委員会、教育行政事務点検評価委員からも高い評価を得ている事業です。また、「本を選ぶ楽しさ」については、「図書館体験会」で実現しているため、現段階では、このままの記述としますが、今後検討します。</p>